

中部インタークラブゴルフ競技、 17年ぶり本戦出場！

2025年10月3日(金)に当クラブで行われた、中部インタークラブ競技北陸地区予選において、ツインフィールズチームが41クラブ中4位の成績で2008年以来17年ぶりに本戦出場を果たすことができました。

本戦は、2025年11月5日(水)に片山津ゴルフ倶楽部で開催され、結果は21位でした。



団体として決勝進出が決まった時の、今の率直なお気持ちをお聞かせください。

★★★
A

研修会として長年の目標で17年ぶりに決勝進出が出来た事は、最大の喜びです。
今回多くの支援と応援をいただき、選手の大きな力になったと思います。
★★★★
今までのご支援に感謝いたします。

川島 悟監督



日頃の練習やラウンドを通じて、チームメンバーとどのように連携し、今回の予選に臨みましたか？

★★★
A

選考ラウンドではメンバーの構成に工夫を凝らすと共に、他クラブ研修会とのオープン戦を企画、選手達に刺激と経験の機会を作りました。

谷村 昭彦キャプテン



今回の大会に向けて、ご自身が特に重点的に調整した部分や、強化した技術はありますか？

★★★
A

ショットの安定性を重視しました。

嵐 禎暁選手



予選ラウンド全体を通して、ご自身のスコアメイクやプレーは、チームにどのような貢献ができたとお考えですか？

★★★
A

チームの中ではポイントを取らなければいけない自覚があったので、実行出来て良かったです。

黛 孝彦選手



★★★

★★★
A

出場順位が一般の部の1番ということで、先制スコアの期待を感じていました。
チームのために、自分の役割を果たしたいという思いで最後の一打まで諦めずに頑張りました。

二木 剛選手



チームメンバーの中で、あなたのプレーを最も支えてくれた、または刺激になった出来事やアドバイスはありますか？

★★★
A

練習ラウンドでは調子も良く、自分がポイントゲッターになるとの意気込みで取り組んでいました。

元野 博之選手



団体戦という形式は、プレー中のプレッシャーや戦略にどのような影響を与えましたか？個人戦との違いを感じた点があればお聞かせください。

★★★
A

上手くない時間帯があっても集中を切らず、最後までやり遂げなければならない点です。

柚木 陽介選手



ホームコースで開催されるクラブ選手権は、あなたにとってどのような意味を持ちますか？また、本戦に向けてどのような意気込みで臨めますか？

★★★
A

ホームコースでの開催ということで変に自分に無駄なプレッシャーを与えることはせずに、普段のラウンドと変わらないように回ろうと意識して臨みました。

神田 賢宏選手



ゴルフを始めたきっかけや、今回の結果につながった原動力は何ですか？

★★★
A

研修会に入った時から、会員の皆様のゴルフに対する競技姿勢に共感し、一緒にプレーすることで充実したゴルフライフを重ねてきました。
★★★★
今回一つの大きな成果を得ることができて嬉しく思います。

前 喜久次選手



会員の皆様のご声援、ありがとうございました。